

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 4年 12月 7日

事業所名：株式会社 歩未 ゆめの森

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10人	—	—	活動内容によって、適切になる様、パーティション等で区切ったりしている。	
	② 職員の配置数は適切であるか	10人	—	—	・職員配置基準を満たしている。 ・活動内容、お客様の状態により、基準以上の配置を行う、安定を図っている	
	③ 事業所の設備等については、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7人	3人	—	・出入口にはスロープを設けてあり、室内はフラットにしている。緊急出入口は簡易スロープをすぐに使用できるよう、配置している。	・手すり等、必要箇所を、適宜見直し、安全に過ごせるようにしていきます。
業務 改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	8人	2人	—	個別のモニタリングを実施し、意見交換を行い、必要時にはすぐに話し合いの場を設けている	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9人	1人	—	振り返りや会議を行い、対応の検討をしている	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所会報やホームページ等で公開しているか	7人	2人	1人	ホームページで公開している	公表場所を把握していない職員へ再度、周知・徹底を行う
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7人	3人	—	第3者評価の設置なし	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10人	—	—	社内研修はなるべく全員が参加できるように日程を設定し、外部研修も必要時に参加できる様、調整している	
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9人	1人	—	保護者様の要望や、お客様の身体状況に合わせて、支援内容の作成を行っている	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7人	2人	1人	使用している	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	8人	2人	—	日替わりで職員が立案し、チーム内で共有している	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9人	1人	—	日替わりで職員が作成する事で、固定化しないようにしている	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	6人	3人	1人	一人ひとりに合わせた療育の提供をしている	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8人	2人	—	個別課題が必要な子に関しては、集団活動の中でも別に場を設け、支援をしている	
適切な 支援の 提供	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9人	1人	—	毎朝、当日の療育についてのミーティングを設け、申し送りノートの活用も行っている	
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7人	3人	—	早急な事案に関しては、ビジネスチャット内で即共有できるようにしている。	
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10人	—	—	毎日、記録を取り、定期的に話し合いを設けている	
⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8人	2人	—	半年に一度のモニタリングを行っている。それ以外でも見直し事項があれば、その都度話し合っている。		

関係者や保護者との連携関係機関	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	7人	3人	—		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8人	2人	—		
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10人	—	—	学校の担当教員と自発管及び担当者によるZOOMミーティングを開催し、情報共有を図っている	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	9人	1人	—		
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	10人	—	—		
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7人	2人	1人	移行先から連絡が来た場合は協力をしている	今後も他機関との連携を図っていきたく思います。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6人	4人	—		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	1人	4人	5人		
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3人	4人	3人		協議会への参加は申請をしているが、中々通らない現状であります
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10人	—	—	毎日の情報は連絡帳にて共有し、必要時には電話連絡をさせて頂いたり、送迎時や面談時などでも、共通の理解をさせて頂いている	
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4人	6人	—	面談等を実施し、一緒に考える時間を設けている		
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9人	1人	—	契約時に行っている	
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9人	1人	—		
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4人	2人	4人	状況に合わせて、保護者参加型のイベント等の企画をし、参加して頂いている	今後も保護者同士が交流できる場を作りたいと思います。
保護者への説明責任等	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10人	—	—	その都度、迅速に共有し、対応している	
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	9人	1人	—	毎月のおたよりを発行している。SNSも利用し、開示している。	
	㉕	個人情報に十分注意しているか	10人	—	—		
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10人	—	—	連絡帳や送迎時に情報共有を行っている	
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	3人	4人	3人		地域の皆様に参加して頂けるようなイベントの企画を考えていきたいと思っています。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7人	3人	—		
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10人	—	—	法令に準じて定期的を実施している	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10人	—	—	年4回の虐待研修を実施している	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10人	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束の必要性についての会議も適宜実施し、見直しを行っている ・支援計画に記載すると共に、同意書を保護者様から頂いている。 	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10人	—	—	アレルギー表を作成し、共有している	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10人	—	—	定期的にとまとめ、会議内で共有している	